

No.・区分	30903	ハード部門(共通)
タイトル	切梁上での単管パイプによる転落防止措置	
動機・改善前の状況	切梁からの転落防止措置としては、被覆ワイヤー等による親綱を設置する事例が多いが、当工事所ではプレキャスト部材の設置等、切梁上で作業する機会が多いため、より安心できる安全設備がないかどうか検討していた。	
改善・実施事項	縦地の単管パイプを切梁のフランジ上下でキャッチクランプにて固定し、横方向に転落防止用の手摺を取り付けた。 切梁上で作業する際はこの単管パイプに安全帯をかけて作業する。	
改善効果	縦地パイプの場所で安全帯のかけ替えを行うため、二丁がけの安全帯を使用しなくてはならないが、片側方向には転落防止柵としての機能も有し、被覆ワイヤーで設置した親綱に比べると強固で、かつ、安心して作業をすることができるようになった。	
活動内容 改善事項の図、 写真		

Good Practice!